

(第1号議案)

平成30年度「土壤医の会全国協議会」事業報告

1. 幹事会の開催

(1) 第1回幹事会(4 役会議)

平成29年12月22日の幹事会で平成30年度第1回幹事会は、会長、副会長、各部会長、顧問で行うことを承認して頂き、以下の議題で行った。

- ◆日時：平成30年4月27日(金) 13:30～16:30
- ◆場所：片倉コープアグリ(株)会議室(15階)
- ◆出席者：野口会長兼研鑽部会長、上野副会長、長谷川調査研究部会長
猿田土づくり普及部会長、猪股顧問、事務局3名
- ◆議題 1. 平成29年度事業報告(案)及び収支決算(案)について
2. 平成30年度事業計画(案)について
 - (1) 活動方針
 - (2) 研鑽部会の活動計画(全国交流大会等)
 - (3) 調査研究部会の活動計画(地域重要問題研究会等)
 - (4) 土づくり普及部会の活動計画
- 3. 平成30年度収支予算について
- 4. その他 地域土壤医の会の設立交渉状況について

(2) 第2回幹事会

- ◆日時：平成30年11月30日(金) 10:15～12:00
- ◆場所：千代田区立日比谷図書文化館4階 セミナールームA
- ◆出席者：幹事10名、監事1名、顧問3名、オブザーバー2名((株)クボタ)、来賓1名(日本土壤協会 副会長 牛久保明邦氏)
事務局3名、欠席4名 合計20名
- ◆議題 1. 平成30年度事業計画の経過報告
2. 平成30年度収支予算(案)について
3. 土壤医の会全国協議会の今後の対応について
4. その他

2. 部会活動報告

【研鑽部会】

(1) 地域土壤医の会の組織化の推進

地域土壤医の会は、特に空白地域を中心に組織化を進めて行く必要がある。このため、組織化の核となる会長と事務局実施機関の可能性を協議しつつ、可能性が高い場合には設立メンバー等への情報提供に努めた。現在、土壤医の会は、事業体土壤医の会13組織、地域土壤医の会13組織、合計26組織が結成されている。

平成30年度に設立された土壤医の会は、事業体土壤医の会2組織、地域土

壤医の会 6 組織で 合計 8 組織結成された。(平成 30 年度設立の土壤医の会)

① 事業体土壤医の会：生科研土壤医の会、やまか(奥村商事)土壤医の会

②地域土壤医の会：大分土壤医の会、札幌土壤医の会、茨城土壤医の会、三重県土壤医の会、愛媛土壤医の会、近畿土壤医の会

*別紙：土壤医会の組織化の状況(平成 31 年 3 月末)

<土壤医の会の全体組織人員数>

(単位：名)

	29 年度末	30 年度予算	30 年度決算
ゴールド	54	76	70
シルバー	294	365	343
準会員	98	122	114

地域土壤医の会の活動内容を広く知ってもらうために、13 の「地域土壤医の会の案内」を、土壤医の会全国協議会の HP にアップした。以降更新して行く。

(2)土壤医の会全国交流大会の開催

◆日 時：平成 30 年 11 月 30 日(金) 13:30~16:45

◆会 場：東京都千代田区立日比谷図書文化館 地下 1 階 大ホール

◆主 催：土壤医の会全国協議会(事務局(一財)日本土壤協会)

参加者：70 名

<プログラム>

(開会)

1) 開会挨拶 土壤医の会全国協議会 会長 野口 勝憲 氏

2) 来賓挨拶 農林水産省生産局農業環境対策課
政策情報分析官 瀬川 雅裕 氏

3) 優良土づくり推進活動の表彰

①審査講評 土壤医の会全国協議会 顧問 猪股 敏郎 氏

② 表彰状と副賞授与 (一財)日本土壤協会 副会長
牛久保 明邦 氏

4) 表彰者からの活動成果の発表

◆(一財)日本土壤協会会長賞

最優秀賞 市原 知幸 氏(岐阜県西濃農林事務所 土壤医)

◆土壤医の会全国協議会会長賞

優秀賞 高山 晃 氏(高山農園・首都圏土壤医の会会長 土壤医)

優秀賞 野々下 昌利 氏(菱東肥料(株)・大分土壤医の会幹事 土壤医)

5) 講演

演題：「土壤病害・センチュウ害診断・対策の動向」

講師：東京農工大学 大学院 生物システム応用科学府

食料エネルギーシステム科学専攻教授 豊田 剛己氏

6) 交流会：地下 1 階の「プロント」で行った

参加者：31 名

(3) 研修会等の開催

(一財)日本土壌協会が主催する土づくり推進講演会やシンポジウムの開催及び土づくり実践研修会(旧資格登録者研修会)を共催で実施した。

1) 初級・中級の土づくり実践研修会

①札幌会場：14名②福岡会場：17名③土浦会場：21名④ 合計：52名

2) 中級・上級土づくり実践研修会

東京会場(連合会館)：28名

【調査研究部会】

(1) 地域重要問題研究会の開催

◆目的：新潟県におけるスマート農業推進における土壌肥料に関連する事項の現状と課題を把握するとともに、全国的に取り組むべき問題についての解決方向を検討する。

◆主催：土壌医の会全国協議会、新潟県土壌医の会

◆日時：平成31年3月16日(土) 12:45～17:00まで
17日(日) 8:20～12:30まで

◆場所：新潟市万代市民会館 4階 大会議室

参加費：16日のみ出席：1,000円、2日間出席：1,500円

情報交換会費：4,000円

<プログラム>

1日目(3月16日)

開会挨拶 土壌医の会全国協議会 会長 野口 勝憲氏

1) 研究会 参加者29名

①新潟市アグリプロジェクトによるスマート農業推進の取り組みについて
新潟市農林水産部 ニューフードバレー特区課

課長 斎藤 和弘氏

②スマート農業を活用した土づくりや施肥管理

・ロボット技術やICT等を活用した土づくり

クボタアグリサービス株式会社 新潟サービス

技術部長 白倉 秀浩氏

・可変施肥田植機等によるスマート農業の取組み

(株)キセキ関東甲信越 営業推進部 課長 安岡 茂人氏

・リモートセンシングとその活用について

ファームアイ株式会社 営業企画グループ 山村 知之氏

③トピックス

・有機質資材の土づくり効果指標「デタージェント分析値」

新潟県農業総合研究所畜産研究センター専門研究員 小柳 渉氏

・土壌医の現況

(一財)日本土壌協会 専務理事 猪股 敏郎氏

2) 情報交換会 参加者 17名

新潟駅前クオリスビル 越後まる松

2日目(3月17日)

1) スマート農業機械 現地展示・実演会 参加者 32名

新潟駅前南口集合 バスで出発 新潟県農業大学校着

現地展示実演会: クボタアグリサービス(株)

(株) キセキ関東甲信越

ヤンマーアグリジャパン(株)

(株) ファームアイ(株)

新潟駅南口解散 12:30

(2) 効果的な指導を支援するためのツールの作成

資格登録者が適切な診断と処方箋を作成して行くための支援ツールとして、以下の内容について実施した。

1) 有効態リン酸含量と作物生育との関係に関する調査試験

ア) 調査試験テーマ①「有効態リン酸含量とホウレンソウの生育」

イ) 調査試験テーマ②「有効態リン酸含量とコマツナの生育」

ウ) 調査試験実施機関と場所: (一財) 日本土壌協会 実験室

エ) 調査試験期間: 平成31年2月～5月

オ) 試験経費: ポット培土用土の収集と土壌分析、ポット培土の有効態リン酸含量の確認分析費等

カ) 試験経費の助成金額: テーマ①5万円、テーマ②5万円

2) 作物生育障害の症状の特徴とその発生土壌環境に関する試験

ア) 調査試験テーマ: 「水稻苗のリン酸過剰による生育障害」

イ) 調査試験実施機関と場所: (一財) 日本土壌協会 実験室

ウ) 調査試験期間: 平成31年2月～5月

エ) 試験経費: 水稻育苗土のリン酸調整と調整後の土壌分析費等

オ) 試験経費の助成金額: 5万円

【土づくり普及部会】

土壌医の会全国協議会と(一財)日本土壌協会とが連携し、地域土壌医の会を中心に、土づくりの普及を図るため地域の若年層、農業者等に受験に向けた支援活動を行った。

(1) 土づくり普及のための支援活動

1) 農業高校等において出前研修や補習の要請に対する土壌医、土づくりマスターの講師派遣

2019年1月26日(土) 9時～4時まで徳島県立農林水産総合技術センター農業大学校に3級受験研修会の講師として梯(カケハシ)美仁氏(土壌医)を派遣した。講師料は5,000円。

2) 資格登録者や土壌医の会にメールで土壌医検定試験のPRパンフレットの配布や

準会場設置の依頼

土壤医検定試験のパンフレット配布や準会場設置依頼に協力し、地域土壤医の会では以下のように準会場を設置していただくとともに、受験を呼びかけていただいた。

(地域土壤医の会による準会場の設置と受験申し込み者)

- ・新潟県土壤医の会 96名
- ・大分土壤医の会 96名
- ・信州土壤医の会 85名(うち高校生21名)
- ・高知土壤医の会 60名(うち高校生10名)
- ・北海道オフオーツク土壤医の会 33名
- ・首都圏土壤医の会 26名
- ・愛媛土壤医の会 24名
- ・沖縄土壤医の会 24名(1級3名受験)

大分、北海道及び首都圏土壤医の3土壤医の会は初めて準会場を設置した。

3) 農林水産省の土づくりセミナーへの協力

農林水産省が実施する農業者を対象として土づくりの基礎的な知識の向上を図ることを目的とした「土づくりセミナー」の開催に協力して土壤医等を派遣した。

(派遣した県名) 福島県、福井県、埼玉県、福岡県

4) JICAの専門家派遣への協力

JICAの農村開発部の事業(ラオス国「クリーン農業開発プロジェクト」)への協力として、専門家派遣(分野:有機土壌)を要請され、土壤医資格登録者のウェブサイトを通じ応募した。多くの応募や問い合わせがあった中から1名を推薦し、推薦した土壤医の方がラオス国に派遣された。

(2) 土づくりの普及に関する連携活動と調査

1) 農業法人等組織との連携

①公益社団法人日本農業法人協会(参事 中澤秀樹)を訪問して、会員に土壤医検定試験の周知を依頼した。法人協会では20会員程度を選択してメールで試験案内を送信していただいた。

2) 今後、土づくりの普及が重要視される職域分野を対象に今後の連携のあり方等の対応検討

首都圏土壤医の会の自主的な研究部会(市民農園等小規模圃場の土づくり研究部会)の活動に柏土壤医の会が参加して市民農園等のヒアリングを行った。また、土壌図の活用研究部会では簡易分析等の土壌調査データの収集とデータ化のために簡便なスマホ版のツール(聞き書きマップ)を柏土壤医の会の圃場で試行した。